

令和6年度事業報告

わーくさぼーと阿久和(B型)

基本方針に対する 達成状況	地域での生活を目指し、一般就労、グループホーム等を利用した自立した生活に向け支援をする中で、1名の一般就労者を送り出すことができた。しかし、就労の定着にはつながらず、退職となった。新規の利用については3名の新規利用から、定着につながる。5月からの統合に向けた調整において、大幅な利用者の入れ替わりがあった。
重点項目に対する 達成状況	感染症対策については、老健恵の杜の基準をもとに対策を継続。研修や情報交換などを積極的に図る。感染者はあったが、感染拡大につながることなく収束することができた。 ・ 個々のニーズや状況に即した支援を行っているが新しい体制のもとに職員の入れ替えが複数あり。 ・ 職員個々の特徴や発想をもとに支援を展開する手法をとる中で、個々の知識や支援に必要な能力は向上したが、それが難しい職員が困惑する状況もあった。
稼働目標に対する 達成状況	事業統合に伴い、大幅に利用者の入れ替えあり。登録数10名程度、平均利用7名弱といずれも前年より低下した。後期に向けては新規の利用開始が複数人おり、稼働がやや上昇した。継続的に受け入れることで、さらに安定した稼働目標の達成が可能。
予算執行状況	・ 基本報酬月額単価および利用率の低下により、収入面に予算と大きな開きがあった。それにともない、職員及び事業規模の縮小を余儀なくされた。
事業およびサービス 目標に対する達成 状況	・ 一般就労者を輩出することができたが、半年間の定着につながらず実績にならず。事業統合に伴う、サービス内容の変更については利用者の状況に合わせ丁寧に展開をすることで、両施設の強みである清掃、クリーニングをそれぞれ活かしながらサービスを継続することができている。老健恵の杜や関係諸機関の協力を得ながら、平均工賃については昨年の2倍以上と大幅に向上させることができ、基本報酬の改善にもつなげることができた。
その他事業計画に 対する達成状況	虐待防止、ハラスメント、事業継続計画などの法定の研修や訓練については、計画の想定通りに実施することができた。そのなかで、事業継続計画については、実際の災害時・非常時に対応しうるものかについては、検証を続ける必要がある。事業所の新体制の開始に伴い、事業所の状況に合わせ、機能する計画作成・実行すること。スタッフ間の理解の共有を図る必要がある。

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	10人	220人	151人	
5月	10人	230人	186人	
6月	10人	200人	120人	
7月	10人	230人	138人	
8月	10人	220人	123人	
9月	10人	210人	121人	
10月	10人	230人	155人	
11月	10人	210人	149人	
12月	10人	220人	156人	
1月	10人	200人	137人	
2月	10人	200人	134人	
3月	10人	210人	142人	

利用者別の内訳（人）

月	なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	合計
4月	5	3	2	1					11
5月	5	3	2	1					11
6月	5	3	2	1					11
7月	5	3	2	1					11
8月	5	2	2	1					10
9月	4	2	2	1					9
10月	5	2	2	1					10
11月	5	2	2	1					10
12月	5	2	2	1					10
1月	5	2	2	1					10
2月	5	2	2	1					10
3月	5	2	2	1					10

年間行事等の報告

4月	個人情報保護研修
5月	基本報酬・勉強会
6月	虐待防止研修（法令）
7月	ヒヤリハット 事故検討会
8月	就労支援研修
9月	防災関係勉強会・避難訓練
10月	避難訓練
11月	虐待防止勉強会・法人20周年
12月	
1月	
2月	
3月	BCP勉強会・避難訓練